

インマヌエル中目黒キリスト教会
2012年3月18日
聖日礼拝

エペソ書連講

「罪の中に死んでいた者」

エペソ書2章1-7節

竿代 照夫 牧師



聖書朗読

新約聖書

エペソ人への手紙 2章1-7節

- 1 あなたがたは自分の罪過と罪
との中に死んでいた者であって、
- 2 そのころは、
それらの罪の中にあって
この世の流れに従い、
空中の権威を持つ支配者として
今も不従順の子らの中に
働いている霊に従って、
歩んでいました。

3 私たちもみな、
かつては不従順の子らの中に
あって、
自分の肉の欲の中に生き、
肉と心の望むままを行い、
ほかの人たちと同じように、
生まれながら御怒りを
受けるべき子らでした。

4 しかし、あわれみ豊かな神は、
私たちを愛してくださった
その大きな愛のゆえに、

5 罪過の中に死んでいた
この私たちを
キリストとともに生かし、
あなたがたが救われたのは、
ただ恵みによるのです

6 キリスト・イエスにおいて、
ともによみがえらせ、
ともに天の所にすわらせて
くださいました。

7 それは、
あとに来る世々において、
このすぐれて豊かな御恵みを、
キリスト・イエスにおいて
私たちに賜る慈愛によって
明らかにお示しになるため
でした。

説教

エペソ書連講 7

「罪の中に死んでいた者」

エペソ書2章1-7節

竿代 照夫 牧師

主テキスト：

「あなたがたは自分の罪過と罪
との中に死んでいた者であって、
そのころは、
それらの罪の中にあって
この世の流れに従い、
空中の権威を持つ支配者として
今も不従順の子らの中に
働いている霊に従って、
歩んでいました。」

(エペソ 2 : 1 - 2)

1章と2章の繋がり：
「復活」が鍵

A．罪の中に死んでいた人生
(1 - 3節)

1 . 死んだもの (1 節)

- 「あなたがた」とは、
異邦人クリスチャンのこと
- 聖書における「死」とは、
分離のこと
- 罪が神と人を隔てる
- 神から離れた人の悲劇

2 . この世の流れに従うもの (2 節 a)

- 「周りが基準」
- 「神の視点」の必要

3 . サタンに支配されているもの (2 節 b)

- 空中とは、悪の支配している
領域
- 「不従順の子ら」とは、
サタンの仲間
- サタンの支配の表れ

4 . 肉欲のままに生きるもの (3 節 a)

- 罪は異邦人だけのものではない
- 肉欲の奴隷

5 . 神の刑罰に値するもの (3 節 b)

- ・ 私たちはみな罪人
- ・ 私たちは原罪を背負っている
- ・ 神の刑罰に値する私たち

1 - 3 節のまとめ：
私の原罪とは？

B . 甦らせられた人生

(4 - 7 節)

1 . 神の愛と憐れみ (4 節)

- 大逆転の「しかし」
- 神の愛と憐れみ

2 . キリストと共なる復活 (5 - 6 節)

- 死から復活へ
- 復活と昇天に与る

3 . 救われた目的（7節）

- ・ 再臨の時まで続く時代に亘って
- ・ 神の憐みのサンプルが私たち

互いに祈るとき